

# 飛躍

TOKAI UNIVERSITY TAKANAWADAI JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL

## HIYAKU

第346号



東海大学附属高輪台高等学校・中等部 学校報

●発行日/2015年9月1日

●発行者/東海大学附属高輪台高等学校・中等部 校長・片桐知己治

「知性と品性、そして感性を」

若き日に汝の思想を培え

Cultivate your thoughts in your early days

若き日に汝の体躯を養え

Nurture your body in your early days

若き日に汝の智能を磨け

Develop your intellect in your early days

若き日に汝の希望を星につなげ

Aim your hopes towards the stars in your early days

TOP\*NEWS

## 第47回剛健旅行



高校男子スタート!



女子・中等部スタート!



キャベツ畑の中、ひたすらゴールを目指して!



黄昏の浅間山を望むパノラマライン



高校男子：新干保チェックポイント



中等部女子1位 -みんな仲良くゴールイン-



# 第47回 剛健旅行1,406名参加 完歩率98.0%

2年ぶりの剛健旅行が、7月10日(金)から11日(土)の早朝にかけて実施されました。昨年の台風の影響で林道が使用できず、今年度はコースを変更して実施しました。

当日は、天候に恵まれ素晴らしい青空と星空の中を歩くことになりました。婦恋村の青々としたキャベツ畑や遠方に望む浅間山を背景に写真を撮ったり、都心では見ることのできないおびただしい数の星の輝きを眺めたりと、自然の素晴らしさも体感しました。

そして何より、「質実剛健の精神」を養うために、苦しい思いをしながらひたすら道を歩き、歩き終えたときの達成感を味わったことでしょう。生徒の皆さん、お疲れ様でした。

## 結果発表

### 高校男子トップ10(36.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (3時間17分)	3	7	大谷 拓摩	陸上競技
2位	1	8	石田 蓮	陸上競技
3位	3	1	原嶋 将牙	サッカー
4位	3	5	山本 陽平	サッカー
5位	2	3	黒岩 秀圭	サッカー
6位	2	9	岩屋 喬士	陸上競技
7位	1	5	河西 俊輔	陸上競技
8位	3	6	安井 美穂	サッカー
9位	2	2	白井 研	サッカー
10位	2	6	吉田 泰侃	サッカー

### 中等部男子トップ10(19.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (1時間44分)	3	A	金井 宏太	陸上競技
2位	3	A	戸田 逸樹	サッカー
3位	3	B	金子 将大	サッカー
4位	3	B	高橋 幸輝	サッカー
5位	3	B	河原 龍太	陸上競技
6位	3	B	佐々木大也	柔道
7位	3	B	中村 優作	陸上競技
8位	3	B	時田 航季	サッカー
9位	3	B	大久保文博	男子バスケット
10位	3	B	加藤 眞裕	陸上競技

### 高校女子トップ10(30.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (2時間59分)	2	9	横井 千紜	女子バレー
2位	3	8	西宮 楓	陸上競技
3位	2	5	原 優里	陸上競技
4位	3	6	宇留島 萌	女子バスケット
5位	2	3	毛塚 千尋	女子バレー
6位	2	2	松本 月穂	女子バレー
7位	2	3	荒井 真尋	女子バレー
8位	1	8	田口もみじ	女子バレー
9位	3	1	佐々木三奈	女子バレー
10位	2	3	橋本 羽香	女子バレー

### 中等部女子トップ10(19.0km)

順位	年	組	氏名	部活動
1位 (2時間51分)	2	B	中村 水音	女子バスケット
2位	2	A	萩原 葉月	女子バスケット
2位	2	A	三須恵美香	女子バスケット
2位	2	A	佐藤 七海	柔道
5位	3	B	秋生田 薫	陸上競技
6位	3	B	鎧野ひとみ	吹奏楽
7位	2	A	正岡 千佳	陸上競技
8位	2	B	金子 玲奈	陸上競技
9位	3	B	植竹 光	
10位	3	A	尾崎 彩花	



## 協力することの大切さ

高校男子 第1位  
3年7組 大谷 拓摩

中等部の頃からこの剛健旅行に参加して、今年で4回目となりました。剛健旅行は他の学校にはなく、一年の中で大きな行事の一つで、私も楽しみにしている行事の一つでした。さらに今年は例年と違い、気持ちの良い快晴となり、みんな楽しく参加できました。

例年より距離は短くなりましたが、それでも日常では走ることのない距離で、何回もやめそうになりましたが、最後の剛健旅行で初めての1位を取りたいという思いと、さまざまな人の協力によって行うことのできた剛健旅行を大切に、最後までやり切りたいという気持ちで頑張ることができました。

剛健旅行は多くの現地の方、先生方、保護者の方々の協力があってこそこの行事であり、最後までやり切るにはクラスメートや部活動の仲間たちの助けが必要です。皆との仲が深まり、協力することの大切さをこれほど身に染みて感じる行事はないと思います。



## 初めての剛健旅行

高校女子 第1位  
2年9組 横井 千紜

左:1位 横井千紜さん  
右:2位 西宮楓さん

初めて臨んだ剛健旅行。30キロを走り切れるかとても心配でしたが、スタートをするとそんな心配は必要なかったかのように、きれいな景色に目をやりながら走っていました。気付けば下り坂を抜けて、中等部との分かれ道に差しか

かっていました。見晴らしのいい道で婦恋村の自然がとても印象に残っています。見渡せばキャベツ畑がそこらじゅうに広がっていて「さすが婦恋」と思いました。

中盤になると疲れもたまってきた、とても果てしない道のりに心が折れそうでしたが、通るポイントの先生や中等部の皆さんの声援がとても励みになりました。1位になれたのものおかげだと思います。

とても大変でしたが、走り切った後の“達成感”は他では味わえないものでした。そして、初めての剛健旅行としていい思い出が作れてとても楽しかったです。

# 中等部水泳実習

去る7月4日(土) 中等部水泳実習が行われました。

中等部の水泳実習は年に2回行われ、バスで東海大学に行き、大学の大きなプールで行われます。

指導には東海大学水泳部の優秀な学生があっています。

水泳の基本の泳ぎ方からレクリエーションまで行われ、生徒たちは有意義な時間を過ごしてきました。

## 中学初めての水泳実習

1年A組 清水 凜

7月4日、湘南キャンパスで水泳実習が行われました。「とても楽しみだね」、冷たい水の中、友達と話していました。私は上級コースで1年生はたったの4人だけでした。小学生の時、水泳を習っていたので、少しは自信があったけれど、実際に上級でやってみると、とても大変でした。いきなり25メートルを4回泳ぎ、休む間もなく、次の練習にうつる、この繰り返しでした。それでも、水泳実習は楽しいものでした。得意な平泳ぎを泳げたり、苦手なクロールでも友達がコツを教えてくれたり、楽しく過ごすことができました。練習が早めに終わり、2チームに分かれてリレーをしました。2年生、3年生はスピードがとても速く、追いつくことができず、私のチームは負けてしまいましたが、とても楽しかったです。

秋にある2回目の水泳実習が今からとても楽しみです。



バタ足は水泳の基本!



指示をしっかり聞いています

## 久しぶりの水泳

2年B組 沼田 悟空

僕は今回久しぶりに泳いだため、初級コースで泳ぎました。僕は昔から水泳は得意というわけではなかったため、ビート板を使って泳ぐことが正直楽しいのかなと思ってしまいました。しかし、いざやってみると、大学生の人たちが楽しくできるように工夫をしてくださり、ビート板を使った楽しい水泳ができました。みんなのためにこんなにもいろいろと考えてくれていて、本当にありがたいなと思いました。今回の水泳で大体どの級が自分に合っているのかがわかったので、次はその級で楽しみたいと思います。

また、水泳のほかに水泳理論として「ウォーターボーイズ」のDVD鑑賞をしました。何度見てもあきないほど面白く、とても勉強になる映画でした。今回もとても楽しい水泳実習でした。

## 勉強になった水泳実習

3年B組 内原 岳飛

僕にとって今回の水泳実習は5回目でした。水泳実習ではまず最初に初心者、初級、中級、上級に分かれ、僕は中級で習いました。

中級コースでは、25mを4本、自由な泳ぎで泳いでいいと言われたので、平泳ぎとクロールを泳ぎました。次はビート板やポールを使って、バタ足や蹴伸びなどの基礎の練習をしました。そして最後に飛び込みの練習をしました。1回目には台には乗らずに飛び込みをしました。2回目はいよいよ台に乗り、飛び込みをしました。1回目よりは高さがあり、少し怖さがありましたが、上手く飛び込むことができたのでよかったです。

今回の水泳実習では水泳の基礎を再確認できたり、新しいことができたといういろいろな良い勉強になりました。今後、他のところで今回の教を生かせるらなと思いました。



背泳ぎでスイスイ



# 部・同好会活動報告

## 関東高等学校柔道大会出場

柔道部

### 悔しさを糧に

3年2組 柔道部主将 森田 祥平

6月5～7日に、茨城県武道館において行われた第63回関東柔道大会に出場しました。関東大会では5日に開会式があり、6日に1、2回戦を行い、3回戦以降の試合を7日に行いました。

5日に茨城県に行き、試合場に慣れるよう意識をして最終調整をしました。この日はその後、開会式が行われました。

そして、試合当日。道衣に着替え、サブ会場でそれぞれアップを済ませました。試合の雰囲気に慣れるために少し早めにメイン会場に入りました。5日にはなかった雰囲気がそこにはありました。いざ試合。対戦相手は市立船橋です。結果、1対1のポイント差で負けてしまいました。チームは、初戦敗退。自分の役割を果たすことができなかった試合にとにかく悔しく思いました。

最終日の7日の試合は、観戦という形になりました。試合を観ながら思ったことは、初戦で負けてしまった悔しさ以上に、来年、再来年の関東大会への連続出場はもちろん、後輩には勝ち進んでもらい、この場に立って戦ってほしいということです。



緊張の中、開会式が行われました

## 関東高等学校卓球大会出場

卓球部

### 悲願達成! -One for all, all for one-

3年6組 卓球部部长 出村 知季

卓球部では「関東大会出場」という目標を掲げて日々練習に取り組んでいました。そして今回悲願の、創部以来初となる春の関東大会出場という大きな目標を、部員全員の力で達成することができました。昨年の新人戦や先輩方の代では、代表決定戦で負けてしまうなど非常に悔しい思いを何度も経験してきました。その悔しさをばねに「今年こそは関東大会に出場する」という強い想いがありました。この目標に向けた部員全員の気持ちがひとつとなり、強豪片倉高校を破り、東京都代表として関東大会に出場することができました。

この結果も部員たちの力だけではなく、協力してくださったOBの方々、いつも応援してくれている保護者の方々、そして毎日一生懸命指導していただいた顧問の先生方の存在があったからこそだと思っています。たくさんの方々を支えられて、目標を達成することができました。

感謝の気持ちを忘れず今まで以上の活躍ができるように、

これからも日々努力し続けていきたいと思っています。



選手と応援が一体となって

## 全国高等学校ダンスドリル選手権大会出場

ダンス部

### 最後の夏

3年3組 ダンス部部长 野津 美梨加



私たちダンス部の3年生は、先日行われた全国高等学校ダンスドリル選手権大会に出場しました。結果を残すことはできませんでしたが、メンバー全員が最後の大会を楽しんで踊ることができました。たくさんぶつかってたくさん泣いて、いろんなことを乗り越えてきたからこそ、このメンバーで踊れてよかったと心から思うことができました。1、2年生、顧問、コーチ、友達、家族の支えがあってここまでやってこれることができました。本当に応援ありがとうございました。またこれからも応援をよろしくお願いします。

## 関東高等学校ゴルフ選手権大会(決勝)出場

ゴルフ

### 努力が実ったこと、足りなかったこと

1年10組 藤井 優駿



6月の都予選を突破し、関東高校ゴルフ選手権決勝に出場しました。

予選はギリギリの突破でしたが、顧問の橋本先生や先輩方が一緒に喜んでくれて、また今までの努力が報われた気持ちで

満足感でいっぱいでした。

大会はSSH体験旅行と重なったため、途中で引き上げ、旅先の静岡から会場の那須まで7時間かけて直接移動する強行軍となりました。大会ではあまり調子が上がらず、不安なままスタートをしました。気温35度。猛暑の中でキャディバッグを担いでのプレーは非常に厳しく、必死でパーを拾っていきましたが、プロのトーナメント並みの硬くて早いグリーンになかなか対応できず、力不足も感じました。

バーディーを取ってもボギーも出てしまうという状況で、トップクラスの選手に食い下がっていったのですが、2日間ともロストボールになるなどの不運もあり、全国大会には届かず残念な結果でした。

応援をしてくれた皆さんには心から感謝をするとともに、まだ1年生。残りは2年間あります。足りなかった努力をしっかりと、必ず全国大会に進めるよう、これからも頑張ろうと思っています。



# 第7回 中等部体育祭開催

## 体育祭の舞台裏

体育祭実行委員長 3年A組 田中 佑長

当日は快晴に恵まれ、絶好の体育祭日和となりました。僕たち体育祭実行委員はこの日までにさまざまな準備をしてきました。

まず一つ目はプログラム作成です。万が一雨だった場合のアリーナ用と、晴天の場合のグラウンド用の2種類のプログラムを作りました。二つ目にスローガン決めです。赤組白組それぞれのスローガンは何が良いかアンケートを取りました。そして候補に挙がったものをもとに、最終的なスローガンを決めました。その結果、赤組は「熱く！ 燃えろ！ 炎のジャスティス」、白組は「炎に勝れ！ 純白の戦士たち」に決まりました。このスローガンは団旗に入れました。団旗の色塗りは美術部の皆さんが中心にやってくれて、素晴らしい仕上がりになりました。また、当日は各競技前に必要な道具を用意したり、競技中には、徒競走のゴールテープを持ったり、玉入れの籠が倒れないように支えたり、競技がスムーズに進むように頑張りました。

体育祭を楽しく行うことができたのも、実行委員のみんなが頑張ってくれたことだけでなく、前日に高校生がテント張りをしてくださったり、先生方がさまざまな準備をしてくださったおかげです。中等部体育祭に関わってくださった全ての皆さんに感謝したいと思います。



徒競走



組体操

おんぶ・二人三脚競走



クラス対抗全員リレー



ボール運び競走

部活動対抗リレー



台風目



箱リレー

ダンス(1年生全員)



背渡りリレー



ダンス(2・3年女子)

## 最高の体育祭

赤組応援団長 3年A組 中山 裕也

6月20日に体育祭があり、僕は応援団の団長をやりました。今回の応援団では演舞に力を入れました。最初は全然上手にできなくて、体育祭までに間に合わないと思っていたけれど、本番が近づくとみんなでやる気を出して、なんとか間に合いました。もっと早く集中してやっていたら、もっと良い仕上がりになったかなと少し後悔しました。でも、応援合戦だけでなく、競技中もみんなでしっかり応援して盛り上げられたのでよかったです。

また、これまでクラスで行進賞をもらったことがなかったのですが、今回もらうことができました。実際行進している時、私は前の方にいたので、後ろのクラスメートの頑張りが気づきませんでした。しかし、クラスみんなで頑張った甲斐あってか、思いのほか賞をもらうことができてうれしかったです。

本番の前々日まで団長をやるのが不安だったけれど、みんなが協力してくれて、最後までやり切ることができてよかったです。



応援合戦 赤組

## 2回目の応援団長

白組応援団長 3年B組 土田 大河

今回の体育祭では応援団長をやることになりました。小学校の時も応援団長をやったことがあったので、今回で2回目です。小学校の時も今回も、偶然にも徒競走で敵方の団長と一緒に走るようになりました。あの時はその徒競走でも全体でも勝つことができたので、今回もそのつもりで臨みました。しかし、徒競走は勝つことができたのですが、全体では負けてしまったのが、とても悔しかったです。

また、応援合戦は体育祭まで残り週間をきっても全員で集まって練習することができず、すべての流れが決まっているわけではありませんでした。全員が初めてそろって練習したのは、体育祭の3日前、リハーサルの前日でした。リハーサルの時の赤組の練習のインパクトはすごかったです。しかし、体育祭当日の応援合戦では白組みんなの協力もあり、非常に盛り上がることができました。

競技等の結果は負けてしまいましたが、今回の体育祭は今までで最も全力で行うことができたし、楽しくやることもできました。残された中等部のスポーツ系の行事はスポーツ大会のみ。それは絶対に勝ちたいです。



応援合戦 白組

## 練習一筋の組体操

2年A組 木島 碧己

夏の暑い日、中等部体育祭が始まりました。僕が体育祭で一番気に入っていたのが、組体操。小学校の頃に運動会でやったことがあり成功させて、その時に僕は「格好良いな。中学校に入ってからもやりたい」と思っていました。

体育の移動授業で当日に使う芝生で演技をしてみたら、地面がすごく熱かったです。一瞬、僕は「ここで演技するのはいやだな」と思ったけれど、絶対に当日は成功させたい気持ちがあったし、先生も「熱いけど頑張っているところを見せるんだろ」とおっしゃっていたので、我を捨てて練習に励みました。

そして本番は、先生がおっしゃっていたことを思い出して、熱い芝生の中で一所懸命に演技しました。ただ一つだけ、倒立で支える人まで足が上がらないことがあったのですが、すぐにやり直して成功させました。最も恐れていたタワーは、見事にバランスを取って、しっかり決めポーズをして、自分では100%できたと感じています。次の体育祭ではもっと良い組体操ができるように頑張りたいです。

## 頑張った体育祭

1年B組 鈴木 亜蓮

僕が体育祭で一番頑張ったのは、「ダンス」でした。僕はダンスの練習の時に、おどりを間違えてしまうことがあったので、初めには難しく過ぎてできないと思ってしまいました。けれども、たくさん練習をしていたら、どんどんできるようになっていきました。僕はこの体育祭のダンスから、どんなに苦手でもできなくて難しいと思ったものでも、諦めないで、たくさん練習をしていけばできるようになることがわかりました。

僕が、体育祭で少しミスをしてしまい、悲しかったのは「台風目」です。僕は縄を持って、みんなの上を通さなくてはなりません。なので、僕は下の人にぶつからないように縄を高く上げましたが、高く上げ過ぎてスピードが遅くなり、縄を落としてしまいました。次は注意して頑張りたいと思います。



# 作文コンテスト



中等部では今年も作文コンテストが行われました。今回の課題は「思いやり」です。生徒たちの多くは自分の体験に基づいて文章を書き上げました。ここにグランプリを受賞した生徒の作文を掲載します。

## 1年グランプリ

1年A組 田口 愛梨

「思いやり」それは人を思う心のことだと私は考えた。人を思うことはとても大切だと思う。人を思い、人を助けるということも思いやりだ。

私は、小学生の時、家の近くで困っているおばあさんを見つけた。荷物が重くて階段を上がれないようだった。私はそのおばあさんの荷物を持ってあげた。おばあさんは笑顔で「ありがとう」と言ってくれた。

近所のお店では、物を落とした人がいて、それを私より小さい子が拾ってあげていた。

最近、小さい子向けのアニメやテレビなどで、思いやりを大切にしているキャラクターがいるようだ。そんなキャラクターがいるから最近の小さい子はよく人を助けているのかと思った。「だれかが何とかするだろう」と思っている人よりえらいと思った。

「思いやり」とは人を思う心のこと。そして人を助けてあげること。それはとても大切だ。これからも思いやりを大切にしていきたい。

## 2年グランプリ

2年A組 浅田 菜月

私は、思いやりとは何かよくわかりません。何をしたら思いやりがあるといわれるのかわかりません。思いやりは目には見えません。だからどの人も他人に優しく接すれば思いやりがあるということだと思います。でも、悲しい気持ちの時や怒っている時など、話しかけてほしくない時人にはあります。そんな時、「ねえねえ、どうしたの?」と軽い気持ちで話しかけられると、「雰囲気を感じてよ」と思いませんか。私はそう思います。しかし、そうは思わない人もいます。思いやりはとても難しい。誰にでも優しく接すればよいというのは、思いやりではありません。相手を気遣って、その人の気持ちと同じ立場になって話すのが思いやりだと思います。

思いやりは、人のとらえ方によって全然違ってきます。なので、思いやりはこの世界中に何億もあり、全く一緒のものはないと私は思います。

## 3年グランプリ

3年A組 古室 七海

私が思う「思いやり」とは、相手の気持ちを考えて行動することです。だからといって、どちらかが嫌な気持ちになることは「思いやり」とは違うと思います。

私は実際に「思いやり」を実感したことがあります。それは4月下旬のことです。私はある子に「もし私が休んだ時は、ノートをとっておいてね」と冗談半分で言いました。しばらくすると、私はインフルエンザにかかり学校を休んでしまいました。すっかり完治して元気になった頃に学校に行きました。朝の読書、LHRと次々に時間が進み、1時間目が始まりました。私は授業の内容を理解できるのかと不安に思いながらもノートを開きました。すると、そこには休んでいた分の授業内容が書かれていました。私はある子の方に振り向きしました。その子は「ノートとっておいたから」と言って、笑っていました。そのとき、私は泣きそうなほどうれしかったです。

「思いやり」というのは、自分も相手もどちらとも幸せな気持ちになれるんだと改めて思いました。

### 準グランプリ受賞者

- 1年B組 北村 幸太
- 2年B組 館野 明日香
- 3年B組 中村 結衣



後列左から：北村君、館野さん、中村さん  
前列左から：田口さん、浅田さん、古室さん

# 2015年度 小論文コンテスト

5月19日(火)2時間目「東海大学付属推薦小論文試験」が実施され、同時間帯で高校1・2年生を対象とした「小論文コンテスト」を行いました。これは、高校3年生と同じ課題・同じ試験時間で600字の小論文に臨む、いわばプレテストです。ここに各学年のグランプリ・準グランプリ作品を紹介します。

### 〈課題〉

テレビ放送、あるいはインターネットやソーシャル・ネットワーキング・サービス(SNS)による情報発信が発達した現代社会では、速報性に劣る新聞の需要が、確かに以前に比べ低下しつつあります。

しかし、だからこそ、情報メディアとしての重要性は、逆に高まったという考え方もあります。今日のネット社会における新聞のメリットは、どこにあると思いますか。あなたの経験を交えながら意見を述べてください。



後列左から仁平君、澤味さん  
前列左から村木君、飯塚君

## 高校1年生 グランプリ

1年1組 村木 龍

新聞はメディアとしての速報性に劣っているものの、さまざまな面に着目すると、とても優れたメディアツールである。

まず、今最も手軽に利用できるものであるインターネットとは、「記事を読む」という点では同じだが、知りたい記事を瞬時に検索したり、さまざまな意見を知ることができるという点では新聞は劣っている。しかし自分が見ていて感じるのは、インターネットの記事ではとても偏った意見を主張しているものや、推敲や事実の検証が不十分で内容が乱雑な記事があるということだ。これは、不特定多数が創作的な活動を行えるというインターネットの利便性が裏目に出てしまっているような結果で、新聞ではしっかりと見識のある専門家が書いた記事や、記者が取材や検証をしっかりと行った上で事実が載せられている。これがインターネットに勝る「信頼性」だ。

新聞はもう一つ信頼性の高い点がある。それは、媒体が「紙」でできているという点だ。テレビやラジオでも、新聞と同じように記者の伝える事実や専門家の意見を得ることができるが、そのためには「装置」と「電源」が必要である。災害時に発信する局が無事でも、受信する側にこの2つがそろっていないと無意味なものである。新聞は「紙」に書かれた印刷物であるため、物理的な移動さえできれば、どんな人々にも情報を届けることができる。新聞は、いざという時に最も頼れるメディアである。

## 高校1年生 準グランプリ

1年2組 仁平 高士郎

近年では、インターネット等の出現により新聞の需要が減ったように思えます。しかし、新聞には新聞のインターネットにはないメリットがあります。

まず、新聞のメリットとして情報の確実性があげられます。インターネットはいつでもだれでも簡単に、ほぼリアルタイムで見ることができます。そして逆にだれでも情報の正誤に関わらず情報を発信できるのです。ただ間違っているだけの情報ならともかく、悪意を持った人によってあげられた情報もインターネットには潜んでいます。だから、使用する際には情報の取捨選択が必要なのです。対して新聞は情報を発信できる人が限られている上にお金をもらっているため、その情報には責任が発生するので確実です。だから安心して見ることができます。

二つ目のメリットはその情報を保存しておくということです。インターネットの情報は日々更新され続けるため、しばらくすると前に見た情報を見つけるのはとても難しくなります。それに比べて新聞はスクラップをしたりすることで、半永久的にとっておけるのです。これは、論文を書いたり発表したりするときにとっても役に立ちます。

最後に、新聞には電池も電波も必要ありません。充電できないような田舎に行ったときに新聞を買って読んでみたら、その日の情報を1つで全て知ることができて便利だったことは私の記憶に焼き付いています。

## 高校2年生 グランプリ

2年7組 飯塚 宙雪

新聞のメリットとしてあげられるのは情報の正確性と信頼性だ。SNSによる情報は速報性があるが、情報の正確性という部分に欠ける。というのも、その情報自体がもともと誤ったものであったり、情報の一部分しか伝えられない場合が多いからである。しかしながら、新聞は情報の速報性には劣るものの、しっかりと全体を捉えていて情報の正確性は高い。つまり正確に正しい知識を取り入れるには、新聞が適しているということだ。新聞を作成している会社によって伝え方は違うが、その根元にある情報にずれがないことは確かだ。

また、新聞は紙媒体であるため、長期間にわたって保存ができるというのもメリットの一つだ。SNSはその場だけで情報を得ることはできるが、保存するという点には向いていない。しかし、新聞はその面を切り取りスクラップなどしておけば、長期間にわたって保存できる。そうすることによって、ある特定のニュースや情報の変化を時間経過とともに見ることが出来る。私も以前、あるテーマに沿って新聞記事をスクラップしていた。そうしてみることによって、新聞記事から世の中の動きや、世論の変化というものも見えたのだ。これはSNSの情報ではなしえない、長期間保存しやすい新聞だからできることだ。

このように、速報性に欠ける新聞も長い目で見れば、情報の正確性や保存のしやすさなどのメリットがあるのだ。

## 高校2年生 準グランプリ

2年4組 澤味 真梨奈

今日のネット社会における新聞のメリットは、新聞はただ情報を伝えるものだけではないことではないだろうか。確かに、テレビ放送やSNSなどによる情報発信の方が、より速く情報を得ることができる。また最近では、ニュースでもSNSでの視聴者からのコメントをリアルタイムで見ながら番組を進めているのを見たことがある。しかし、SNSの情報より、新聞の方が信用性も高く詳しく知ることができる。なぜなら、SNSの情報がすべて事実といえるわけではないからだ。テレビのニュースでも、速報だと詳しく調べられてはいなくて理解が難しい部分もある。時間がかかっても、専門家の意見や記者自身の意見も入っている新聞の方が、信用性が高い。毎日決まった時間に発行されているのもその理由の一つといえる。また、新聞にはテレビのニュースには出ないような、小さな出来事でも書いてあったり、プロだけでなく、アマチュアや子供の記事も載っている。1部の新聞の1ページ1ページに目を通せば、自分の知らなかったこと、興味のなかったことも知ることができ、自分の知識の幅を広げられるものである。

今、自分を含め、若い人はSNSに頼りすぎている気がする。画面の上のことだけでなく、新聞を手に取り読むことで、もっと社会を知ることになるのではないか。これが今日のネット社会における新聞のメリットだと考える。



# 学年だより 高1

## スポーツ大会

高校第1学年のスポーツ大会が、6月19日(金)に行われました。あいにくの雨でアリーナでの開催となりましたが、熱気あふれる素晴らしい大会となりました。総合優勝は1年2組、準優勝は1年9組です。今回は上位組の感想を紹介します。

### 全員で勝ち取った総合優勝

2組 金子 昌彦

高校生活初めてのスポーツ大会で、私たち2組が優勝できたことは本当にうれしい出来事でした。すべての競技に全力を注ぎ、ドッジボールとバスケットボール(男子)では1位を取ることができました。しかし競技だけではなく、たくさんの応援もあって勝ち取った優勝であることを、クラスのみならずは知っています。このスポーツ大会で、クラスの団結をいっそう深めることができました。

今回のスポーツ大会でもクラス全員が活躍できるよう、仲間との結束を強め、普段の生活や授業でも一致団結して精いっぱい頑張っていきたいと思います。

### スポーツ大会を終えて

9組 影山 尋哉

さいたま総合グラウンドで行われる予定でしたが、天気はあいにくの雨で、スポーツ大会はアリーナで行われることになりました。僕はバスケットボールとドッジボールに出場しました。優勝はできませんでしたが、クラスの友達との仲を深められたと思います。また応援にも熱が入っていて、悪天候を吹き飛ばすくらい、クラスに関係なく盛り上げられました。クラスの枠を超えて仲良くなるということは、学年の団結を深めることにつながります。クラスや学年で団結し、これからの行事をより良いものにしていきたいです。級長を中心に、これからの授業や行事でも9組が学年を引っ張っていけるように頑張りたいです。



熱戦!【バレーボール】



クラスで団結【綱引き】



「喜想 10 開」1 学年☆

# 学年だより 高2

## 研修旅行 ①

高校3年間の最大行事は「研修旅行」であるというのは、衆目の一致する所です。今回から3回にわたり、研修旅行の報告を予定しています。まず最初は、残念ながら今年度限りとなってしまった、オーストラリアコース(研修コースは29名、ホームステイコースは19名)から始めます。

### 自然の力、人間の力

オーストラリア研修コース代表 2組 川村 洋平

今回のオーストラリア研修旅行で、代表というポジションを務めさせてもらったことで、人、あるいはグループをまとめることの大変さがわかりました。

オーストラリアでは、ブルーマウンテンズ周辺とシドニー市内という2カ所を主に回りました。ブルーマウンテンは絶景で、隆起してできたとは思えないほどの美しさでした。

自然もちろん素晴らしかったですが、私が一番強く感じたことは、見知らぬ土地であってもみんながきびきびしていたこと、またシドニー市内で行った現地学生との交流でも、積極性が光っていたことでした。

本来まとめなくてはいけないこちら側としては、必要最小限のことだけを伝えればよく、個人的にとっても助かったという思いが強かったです。

とても頼りない代表でしたが、このメンバーと一緒に時間を過ごせてとても幸せでした。

### 一生の思い出

オーストラリアホームステイコース代表 10組 平松 尚也

私には、オーストラリアでの思い出が2つあります。

1つ目はスリーシスターズを見たことです。強く印象に残っている理由は、大自然を肌で感じる事ができたからです。日本では決して見ることができない山々がそこに立ち尽くしていました。

2つ目はホームステイしたことです。ホームステイ先の両親は、私たちがまるで自分たちの子供のように接してくれました。そのおかげで、私たちが行きたかった動物園にも連れていってくれました。

なかなか上手に受け答えができず、返答に困ったこともありましたが、そのたびに、言葉を換えてゆっくり話しかけてくれたので、大いに助かりました。そういうところにも「愛」が感じられました。

オーストラリアでは、多くの知識や経験を得ることができました。ひとえに両親の理解と協力があったからこそ実現できたことです。両親に深く感謝したいと思います。



アボリジニ文化を学ぶ



ブルーマウンテンズ国立公園にて



スリーシスターズを背景に



現地の子と一緒に



ジェノランケーブにて



オペラハウスの前で



# 学年だより 高3

## 学年集会 「打ち上げ花火、下から見るか? 横から見るか?」

6月18日の学年集会は、アリーナでの映画鑑賞会でした。「同じ場所で同じ時間を過ごしてきた仲間たちと感動を共有する」という趣旨から作品の選定を行い、岩井俊二監督の日本映画監督協会新人賞受賞作「打ち上げ花火、下から見るか? 横から見るか?」を上映することになりました。

20年以上前に公開された映像作品ですが、みんな自分たちの小学生時代と重ね合わせながら「人生の選択肢」に思いを巡らせたようです。



イラスト:鈴木 美咲(8組)

### 映画「打ち上げ花火、下から見るか? 横から見るか?」(1995年公開) あらすじ

花火大会を数時間後に控えた夏休み中の登校日のこと。小学生の典道(山崎裕太)や祐介(反田孝幸)たちは、打ち上げ花火を横から見るか丸いのか平べったいのかという「賭け」をする。いっぽう、なすな(奥菜恵)は両親の離婚が原因で急に決まった新学期からの転校を誰にも告げられないまま、典道と祐介とのクローリング対決で勝ったほうと駆け落ちするという「賭け」を企む。

### 映画の感想

★ なんだか見ていて切ない気持ちになりました。どっちの「道」をたどったとしても、最後は同じゴールにたどり着いてしまう。道の始まりと終わりは常につながっていて、どうあがこうが未来は変化しない。それでも思い出があれば、この先の心持ちは違ってくるんだろうなと感じました。(理系・男子)

★ 私もたまに「もしあのとき違う選択をしていたらどんな人生になったのかなあ」と思うときがあります。自分の中で一つだけ後悔していることがあって、うまくいかないときはそれを言い訳にして逃げてしまうこともありました。でも、この映画を観て「あ、やっぱりどこでどんな道を選んだとしても、結局は今と同じ人生を歩むことになるのかな」と思いました。

★ 未来ってそう簡単には変えられないんだなあと思って少しがっかり? というか、逆に後悔しないように今を一生懸命生きていくしかないんだな、とやる気が出ました。(理系・女子)

★ なすなと典道が同想いであることを前提に挿入曲の歌詞を考えてみると、どちらにも事情があって自分の気持ちを言えない微妙な関係とぴったり合っていて、とても美しいと思いました。

この映画を見るには、自分の人生経験が少なすぎて悔しくなりました。自分が30代になったころ、また「見返したい」と思いました。(文系・女子)

### 主題歌の一節“Hold me like a friend” あなたならどう訳しますか?

★「友達だけど、ずっとこのまま抱きしめていて」(SSH・男子)

★「一生ってほどじゃないけど、私が好きでいたことは覚えていてくれるかな」(理系・男子)

★「一番近い距離にいてください」(文系・女子)

## 【速報】剛健旅行委員長・副委員長が大活躍!

今年度の剛健旅行では、3年生の剛健旅行委員が運営をサポートしてくれました。開・閉会式でのあいさつはもちろん、過去最多の400玉を超える注文があったキャベツの販売も額の汗を拭いながら手伝ってくれました。

### 椎橋 奈央 委員長・2組

去年は台風の影響で中止になってしまったので、今年はなんとしてでも晴れてほしい! という思いで開会式のビデオ収録に臨みました。結果は暑すぎるくらい快晴で、夜になると天の川がとてもきれいに見えました。

女子は距離が3キロも伸びて大変でしたが、最後の剛健旅行はとても思い出に残る行事になりました! 後輩の皆さん、日ごろの行いさえちゃんとしていれば来年もきっと晴れると思いますよ(笑)。

### 佐々木 三奈 副委員長・1組

私は今まで一回も恋愛キャベツを買ったことがなかったのですが、今回たくさんの人たちがキャベツを買っていることを知り、びっくりしました。剛健旅行を通じて恋愛村に興味を持ってキャベツを購入してくれた人も多くいます。とても暑くて大変でしたが、やりがいを感じることができました。

他校にはない、高輪台ならではの学校行事を大事にしていきたいと思っています。



## 2015年度学校運営方針

5月号で掲載した2015年度の学校運営方針重点目標について、詳しく紹介していきます。

### 2015年度の重点目標 PART.3

## 7 中等部・高校・大学10年間の一貫教育を充実させる

中等部・高校・大学の10年間、一貫した教育方針のもとで人を育てていく。このことを全教職員が強く意識して日々の指導にあたっていきます。教科の授業、学級・学年の活動、部活動等、学校生活のあらゆる面で一貫教育を推し進めていきます。

## 8 教員の授業力向上に向けて研修を活性化させる

学校全体でも、教科単位でも定期的に教員研修を行っていますが、現状に甘んじることなく、一層質の高い研修となるよう工夫改善を続けていきます。教員自身が常に向上心を持ち、学び続ける人であるためにも、継続的な研修は不可欠であると考えています。

## 9 オリピック・パラリンピック教育を推進する

近代オリピックは単なる競技会ではなく、オリピズムに基づく社会啓蒙活動(オリピックムーブメント)として、人類の平和や発展を目指すものです。東海大学の創立者、松前重義はオリピックの理念に共鳴し、自身も国際柔道連盟の会長を2期、8年にわたって務め、スポーツを通じた国際理解と世界平和の推進に尽力してきました。2020年に東京オリピック・パラリンピックが開催されるのを機に、東海大学の初等中等教育機関では、積極的にオリピックの理念を学ぶ機会を設けていきます。

## 10 「日本一・全国強豪部活動合宿(仮称)」を展開する

学園の付属校には全国レベルで活躍している部活動が数多くあります。これまで学園オリピック(スポーツ部門)等を通じて、付属校間の部活動交流を行ってきました。今年度、新たな企画として「日本一・全国強豪部活動合宿(仮称)」をスタートさせます。これは高い実績をあげている付属校の部活動に、他の付属校で同じ部活動をしている生徒が長期休暇中等に参加して一緒に活動をする企画です。本校では吹奏楽部が他の付属校からの参加受け入れを計画しています。



# 高輪カップ(卓球)・高輪ウィンドフェスティバル(吹奏楽) 開催

## 男子 卓球の部

優勝	世田谷区立砧中学校
準優勝	練馬区立田柄中学校
3位	世田谷区立駒留中学校

参加校 16校

足立区立第十一中学校	江東区立深川第七中学校	世田谷区立砧中学校
足立区立第十四中学校	江東区立深川第八中学校	世田谷区立駒留中学校
江戸川区立小岩第一中学校	練馬区立石神井南中学校	川崎市立井田中学校
江戸川区立小岩第四中学校	練馬区立田柄中学校	川崎市立西中原中学校
大田区立南六郷中学校	板橋区立加賀中学校	東海大学付属高輪台高等学校中等部
江東区立深川第二中学校		

## 女子 卓球の部

優勝	江東区立深川第七中学校
準優勝	板橋区立加賀中学校
3位	大田区立南六郷中学校

参加校 8校

江東区立深川第七中学校	足立区立第十四中学校
大田区立南六郷中学校	板橋区立加賀中学校
練馬区立石神井南中学校	江戸川区立小岩第一中学校
足立区立第十一中学校	川崎市立井田中学校

顧問 細田 功



男子優勝 世田谷区立砧中学校



女子優勝 江東区立深川第七中学校



高輪台中等部



熱戦の様子

今回で第10回を迎えた高輪カップが7月20日(月)、本校アリーナにおいて行われました。高校卓球部に所属している部員の母校を中心に、男子16校、女子8校が集まり熱戦が繰り広げられました。試合は、男女とも4チームによる予選リーグを行い、午後からは各ブロックの1・2位校、3・4位校によるトーナメント形式の試合が行われました。男子決勝戦は、前半で砧中学校が田柄中学校に2点先取されたあと逆転で取り返し3対2で砧中学校が初優勝を果たしました。女子は、深川第七中学校と加賀中学校の決勝戦となりましたが、3対1で深川第七中学校が勝ち、2年ぶり2度目の優勝を果たしました。

本校中等部男子は、予選リーグ1勝2敗で3位となり、午後からの3・4位トーナメント進出をしましたが、初戦、深川第二中学校に0対3で惜しくも敗れてしまいました。しかし、技術力やチーム力では昨年以上に大きく成長した姿を見ることができました。

今大会が、各校顧問の先生方ならびに多くの方々のご協力により、無事終了できたことを心より感謝申し上げます。

顧問 畠田 貴生

## 吹奏楽の部

参加校 48校

【午前の部 22校】

港区立高松中学校
品川区立富士見台中学校
江東区立砂町中学校
八王子市立ひよどり山中学校
品川区立荏原第五中学校
川崎市立平間中学校
川崎市立南河原中学校

瑞穂町立瑞穂中学校
相模原市立大野南中学校
墨田区立本所中学校
品川区立小中一貫校日野学園
横浜市立希望が丘中学校
藤沢市立湘洋中学校
横浜市立中川西中学校
大田区立雪谷中学校
千葉市立蘇我中学校
横浜市立中田中学校
市川市立第八中学校

習志野市立第五中学校
横浜市立田奈中学校
川崎市立西生田中学校
川崎市立有馬中学校

【午後の部 26校】

渋谷区立広尾中学校
横浜市立深谷中学校
町田市立木曽中学校
横須賀市立大矢部中学校
文京区立第十中学校

川口市立北中学校
横浜市立金沢中学校
横浜市立みたび台中学校
荒川区立尾久八幡中学校
横浜市立西柴中学校
横浜市立丸山台中学校
横浜市立南瀬谷中学校
川崎市立田島中学校
横浜市立上の宮中学校
荒川区立第一中学校
さいたま市立原山中学校

足立区立洲江中学校
足立区立第十一中学校
江戸川区立東葛西中学校
八王子市立桐田中学校
市川市立妙典中学校
川崎市立野川中学校
川口市立青木中学校
横浜市立緑が丘中学校
練馬区立開進第二中学校
東海大学付属高輪台高等学校中等部



第7回高輪ウィンドフェスティバルが7月22日(水)に開催されました。参加校は昨年よりもさらに増え総勢48校の中学校吹奏楽部が、本校アリーナにて素晴らしい演奏を披露してくれました。演奏者だけでも2,000人以上、そして保護者の皆様をはじめとするたくさんの観客の方々にご来校いただき、アリーナはほぼ満員となりました。3人の講評員の先生方に今後の活動でのアドバイスをいただき、目前に迫った吹奏楽コンクールへさらなる飛躍を目指す中学生の姿が印象的でした。フェスティバルの最後には本校吹奏楽部のスペシャルコンサートを楽しんでいただき、終演を迎えました。中学校の先生方からは、来年の開催も期待していただいております。中学生たちにとってより良いイベントとなるようにしていきたいと思っております。

今回も高輪ウィンドフェスティバル開催のために、本当に多くの方々にご協力をいただきまして誠にありがとうございました。この場をお借りして深く御礼申し上げます。

# SSH活動報告(さくらサイエンスプラン)

## 中国の高校生70名が来校、ノーベル賞・益川博士の特別講演を実施

7月17日(金)、日本科学技術振興機構主催の「さくらサイエンスプラン」で来日した中国の高校生70名が本校を訪れました。「さくらサイエンスプラン」は産学官が連携し優秀なアジアの青少年を招き、未来を担うアジアと日本の青少年が科学技術分野で交流を深めることを目指すものです。

訪問前日16日夕方、中国の高校生たちは秋葉原を自由見学。本校SSHの生徒16人が同行し案内役をつとめ、見学後は全員で夕食を共にしました。明けて17日、本校SSH生徒120名と訪問団一行は、東海大学高輪キャンパス大講義室で益川敏英博士(ノーベル物理学賞受賞)の特別講演を聴講。講演後には日中双方の生徒からの質問に丁寧に応えていただきました。講演後は本校に移動、食堂で益川博士も交え皆で昼食のテーブルを囲みました。食後はアリーナに場所を移し、本校吹奏楽部の歓迎演奏会と本校生徒の司会による日中混合チームでのレクリエーション大会を行いました。一日を一緒に過ごし本校を後にする際には、すっかり打ち解けあった生徒同士が別れを惜しむ姿が見られました。

来日から5日間、大阪、京都、東京をめぐる、大学や研究機関を訪問してきた中国の高校生たち。本校訪問は帰国前日にあたり、日本での最後のプログラムでした。これまでの大学や研究機関とは一味違った、同世代、高校生同士の交流が深められたことに、きっと満足してもらえたことと思います。

### 将来の研究者として

3年9組 矢萩 貴美子

今回、私は益川先生の講演を聴き、たくさんのことを学ぶことができました。もともと益川先生がノーベル賞を受賞されたクォークの研究内容については、大まかに知っていましたが、私が学んだのは高校1年生の頃だったので、改めてお話を聴いてみると自分が知らなかった知識もあり、非常に興味をひかれる講演でした。ご自身の研究内容はもちろん、研究で息詰まってしまった際のように切り抜けたかや、研究者になられたきっかけなど冗談を交えながら話していただきました。普段聞くことのできないような、私たちにとっても身近なお話を聴くことができ、とても有意義な時間になりました。益川先生は「物理学の世界にはまだ解明されていないことがたくさんあり、どの分野にも若い世代が入り込む隙間がある」と最後におっしゃられていました。その言葉通り、私たちの世代が新しいことを発見し、世界を代表するような研究者を目指したいです。



益川先生へ質問

### 2日間の貴重な体験

2年10組 村林 直樹

さくらサイエンスに参加して、自慢できることが1つ増えました。それは、日本以外の国に友達ができたことです。通信技術が発達した現代では、簡単に世界に通じることができます。6月の研修旅行でも海外の人と交流することはできましたが、今回のプログラムでは、表面上だけではなく内面的にも触れ合い、交流することができました。中国の友達とは、英語でコミュニケーションを取り仲良くなれました。私の1番の思い出は会食の時です。初対面でしたが、日本の数え方と中国の数え方を教え合い、仲が深まりました。私の方は頼りない英語でしか話すことができませんでしたが、最後には日常会話はスムーズに話せるまでに成長することができました。

この2日間を通して、私は生涯忘れられない経験ができました。そして、これからも世界中の人々と交流をするために、英語の学習により一層励みたいです。



英語でコミュニケーションをとりながらゲームをしました



秋葉原を一緒に散策



ご飯を食べながら交流



別れのとき



# お知らせ

## 2015年度 第14回高校体育祭

●日時: 9月30日(水) 9:30~16:00

●場所: 本校さいたま総合グラウンド

スローガン 『汗かけ! 声出せ! 力出せ!』  
~お金で買えない勝ちがある~

### 行事予定

## September 9月

## October 10月

- 1日(火) 避難訓練 朝礼[正制服着用] 1限目カット 45分短縮授業
- 5日(土) 3時限授業 東海カルチャーセミナー(13:00~)  
後援会委員総会(15:30~)
- 8日(火) 中学校巡回 生徒自宅学習日
- 10日(木) 生徒による授業評価アンケート(2回目)  
生徒による学校評価アンケート(1回目)
- 11日(金) 専門医によるカウンセリング③
- 12日(土) 高輪会役員会
- 15日(火) 前期期末試験(中等部~17日、高校~18日)
- 18日(金) 中等部写生大会(雨天時午前中授業)
- 19日(土) 生徒自宅学習日
- 21日(月) **敬老の日**
- 22日(火) **国民の休日**
- 23日(水) **秋分の日**
- 24日(木) 答案返却日
- 25日(金) 生徒自宅学習日
- 26日(土) 生徒自宅学習日
- 27日(日) 付属高校生のためのオープンキャンパス(高2 湘南キャンパス)
- 28日(月) 振替休日(高2)
- 29日(火) 校医相談日⑤
- 30日(水) **第14回高校体育祭(さいたま総合グラウンド)** 延期の場合は授業日

- 1日(木) 後期始業式[冬期正制服着用] 45分短縮授業
- 2日(金) 中学校教員説明会(16:00~)
- 3日(土) 短縮授業 保護者会②(家庭通知表配布14:30~16:30)  
保護者による学校評価アンケート①
- 5日(月) 塾教員説明会(10:00~)
- 7日(水) 建学祭開祭式(7時限)
- 8日(木)・9日(金) 建学祭準備日
- 10日(土)・11日(日) **第51回建学祭**
- 12日(月) **体育の日**
- 13日(火) 建学祭閉祭式 45分短縮授業  
校医相談日⑥ 学校保健委員会② 安全衛生委員会②
- 14日(水) 振替休日(10/11分)
- 15日(木) 学年集会(中1、高1)
- 16日(金) 第14回高校体育祭予備日(9/30体育祭実施・延期の場合は授業日)
- 17日(土) 教育実習(~11/7)
- 18日(日) 池袋進学相談会(サンシャインシティ)
- 21日(水) 高3スポーツ大会[さいたま総合グラウンド](体育移動授業)
- 24日(土) SSH成果報告会 特別時程
- 25日(日) 高校受験生・保護者学校説明見学会(3回目)
- 28日(水) 高3スポーツ大会(予備日)
- 29日(木) 学年集会(中3、高3)

### 剛健旅行



みんな一緒に



最後の剛健旅行



この景色、癒されます!



豚汁とおにぎりの支給、ありがとうございました!

### 編集後記

長かった夏休みも終わり、また元の学校生活が始まる。子どもの頃、夏休みの終わりの数日を明るいきもちで過ごしたことはなかった。残された宿題の数々、書き忘れた絵日記の日々。親に叱られるまでもなく、いつも心の中でこう呟いたものだ。「ああ、最初からもう一度やり直すことができたらなあ。今度こそはちゃんとやるのになあ」—しかし、過去は取り戻せない。人生の所々で幾度となくそのことを思い知らされる。これからは「今度こそちゃんとやるのになあ」の言葉を繰り返すことなく過ごしたいものである。(ほ)

東海大学付属高輪台高等学校・中等部

TEL.03(3448)4011 FAX.03(3448)4020 ホームページ: <http://www.takanawadai.tokai.ed.jp/>